

2025年度 事業報告



一般社団法人
中国経済連合会

項 目

1

I. 事業の概要

1. 挑戦と変革による次世代の産業づくり(重点課題 1)
2. 連携と適応による持続可能な地域づくり(重点課題 2)
3. 重点課題対応を支える基盤施策
4. 連携・要望活動等

II. 事業活動の状況

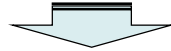
1. 総会・理事会等
2. 委員会の活動
3. 提言・要望活動
4. 連携・懇談活動等
5. 会員状況

- 産学官の連携を強化しながら、重点課題に力点を置いて取り組むことで「活力に溢れ豊かさが実感できる中国地方」の創生を目指していく。

中期事業方針(2025～2027)の概要

(取り組みの基本的考え方)

- これからの3年間で「社会課題の解決を新たな成長に繋げる期間」と位置づけ、重点課題に力点を置いて取り組むことで、施策の実効性を高めていく。



<重点課題Ⅰ（攻めの取組み）>

挑戦と変革による次世代の産業づくり

《主要施策》

1. GXの推進
2. DXの推進
3. スタートアップ支援とイノベーションエコシステムの構築



<重点課題Ⅱ（守り固めの取組み）>

連携と適応による持続可能な地域づくり

《主要施策》

1. デジタルを活用した持続可能な地域社会の実現
2. 第一次産業の活性化
3. 観光の振興



《重点課題対応を支える基盤施策》

「地域を支える人材の育成・確保」「働き易く暮らしやすい環境の整備」
「交通インフラの整備促進」「行財政改革・広域連携の促進」

I. 事業の概要

重点課題1:挑戦と変革による次世代の産業づくり

1.GXの推進

・・・ ④～⑦

エネルギー多消費産業が多い中国地域における地域企業と連携したカーボンニュートラルの推進、円滑なGX実現に向けた環境整備、および脱炭素社会の実現に向けた持続可能なエネルギーミックスの構築に取り組んだ。

2.DXの推進

・・・ ⑧～⑨

デジタル人材育成のための講座提供や企業ニーズに基づく伴走支援体制の構築、啓発やスキルアップを目的としたセミナー・フォーラムの開催などを通じ、特に地域の中堅・中小企業のDX推進に向けた支援策の充実に重点的に取り組んだ。

3.スタートアップ支援とイノベーションエコシステムの構築

・・・ ⑩～⑪

産学官の連携強化を軸に、大学や研究機関の技術シーズの発掘・情報発信と企業とのマッチング支援を推進するとともに、J-Startup WEST等の支援プログラムと連携したディープテック・スタートアップの創出・育成、学生の起業意識醸成などに重点的に取り組んだ。

1. 地域企業と連携した取り組みの推進と円滑なGX実現に向けた環境整備－協議会－

- 中国地域カーボンニュートラル推進協議会では、国の政策動向を含めた情報共有、地域内企業の啓発に取り組むとともに、関係部会を立ち上げ具体的な対応策を検討。〔協議会会員数3月末現在 121団体〕

▶ 中国地域カーボンニュートラル推進協議会（6月30日開催）

1. カーボンニュートラルに関する最新情報セミナー（参加者：会場 約70名）

演題：地球温暖化をめぐる内外情勢とカーボンプライシング

講師：東京大学公共政策大学院客員教授

エネルギー金属鉱物資源機構(JOGMEC)特命参与

有馬 純 氏



2. 2025年度中国地域カーボンニュートラル推進協議会

(1) 2024年度活動報告

- ・ 電力推進部会の活動報告
- ・ 燃料推進部会の活動報告

(2) 2025年度活動計画



1. 地域企業と連携した取り組みの推進と円滑なGX実現に向けた環境整備－協議会－

▶ カーボンニュートラル・シーズ保有企業・マッチング・プレゼンテーション（12月9日開催）

（オンライン開催、参加者：約70名）

テーマ：脱炭素電力の供給と各種関連サービス

シーズ企業	プレゼンテーション・テーマ
 TSP 株式会社ティーエスピー	「炭素税時代の電力経営改革」 ～2026 年太陽光設置義務化スタート・炭素税時代に求められる電力コスト削減と資産価値向上～
 三井物産 プロジェクトソリューション株式会社	「FIT 発電所におけるFIP 転換と収益向上ソリューションのご紹介」 ～蓄電池に頼らず、疑似FIT を実現～
 SMFL 未来パートナーズ	「オフサイトPPA サービスのご紹介」 ～オフサイトPPA 活用によるGHG 削減を支援～
 NTTアノードエナジー	「サステナブルな再エネ調達によるカーボンニュートラルの実現」 ～オフサイト P P A による再エネ導入のご紹介～
 Energia 中国電力株式会社 中国電力	「省エネ・CO2 削減コンサルティング」の紹介 ～省エネの専門家による「見える化・数値化・計画策定」のご提案～
 TOSHIBA 東芝エネルギーシステムズ株式会社	カーボンニュートラルを実現する「再エネ・蓄電池アグリゲーション」の取り組みについて

※ イベント後に実施したマッチング意向調査では、数社からプレゼン企業へのアクセス依頼あり

2. 脱炭素社会の実現に向けた持続可能なエネルギーミックスの構築推進－啓発・要望活動－

- カーボンニュートラルの推進およびその前提となるエネルギーの安定供給の確保に向けた講演会や視察会等の理解促進・啓発活動を実施。

▶ エネルギー環境関連施設視察会（10月28日～29日） 泉原委員長ほか16名参加
〔1日目〕

▶ 技術研究所・ガスエネルギー館「CaN-Lab」（東邦ガス）

メタネーション、CO₂分離・回収、水素利用技術など、同社が推進する脱炭素技術の取り組みについて説明を受けた。

▶ 知多緑浜工場（東邦ガス）

東邦ガス最大のガス製造拠点であり、2024年6月に新たな水素製造プラントの運転を開始。1日あたり約1.7トン、燃料電池自動車（FCV）約340台分に相当する水素を製造し、モビリティや熱利用、工業用原料など、多様な分野へ供給。



知多緑浜工場

〔2日目〕

▶ 碧南火力発電所（JERA）

1～5号機の合計出力410万kWを誇る、国内最大級の石炭火力発電所。2024年にアンモニア20%混焼の実証試験を実施し、良好な成果を得た。現在は4および5号機を使用し、20%混焼による商用運転の開始に向けた準備を進めており、関連するアンモニアタンクを建設中。将来的には、2030年代に転換率50%、2040年代にはアンモニア専焼を目指している。



碧南火力発電所 5号機ボイラ屋上

2. 脱炭素社会の実現に向けた持続可能なエネルギーミックスの構築推進－啓発・要望活動－

▶ 水素・次世代エネルギー研究会（中国経産局、広大、当連合会他）

- ・運営委員会（5月30日開催）

- ・水素・次世代エネルギー研究会セミナー（10月8日開催）

場 所：広島大学東千田キャンパス

テーマ：水素エネルギー社会とカーボンリサイクル

講演内容	
13:00	開会式
13:00	13:00
13:30	経済産業省 資源エネルギー庁 三好 均一 氏 （水素エネルギー推進に関する講演）
14:00	広島大学工学部 教授 藤川 義之 氏 （水素エネルギーとカーボンリサイクルに関する講演）
14:30	広島大学大学院工学研究科 教授 市川 貴之 氏 （水素エネルギーとカーボンリサイクルに関する講演）
15:00	広島大学大学院工学研究科 教授 市川 貴之 氏 （水素エネルギーとカーボンリサイクルに関する講演）
15:30	広島大学大学院工学研究科 教授 市川 貴之 氏 （水素エネルギーとカーボンリサイクルに関する講演）
16:00	広島大学大学院工学研究科 教授 市川 貴之 氏 （水素エネルギーとカーボンリサイクルに関する講演）
16:30	広島大学大学院工学研究科 教授 市川 貴之 氏 （水素エネルギーとカーボンリサイクルに関する講演）
17:00	広島大学大学院工学研究科 教授 市川 貴之 氏 （水素エネルギーとカーボンリサイクルに関する講演）

▶ エネルギー環境政策講演会（10月15日開催）（カーボンニュートラル推進協議会と共催）

- ・テーマ「エネルギー政策の現状について」

〔講師〕 経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房
総務課 調査広報室 室長 森本 要 氏

- ・方法 TeamsによるWeb配信



講演内容
13:00
13:00
13:30
14:00
14:30
15:00
15:30
16:00
16:30
17:00

エネルギー政策の現状について

令和7年10月
資源エネルギー庁

▶ エネルギー環境政策講演会（3月12日開催）（カーボンニュートラル推進協議会と共催）
（参加者：約70名）

演題：国内排出量取引制度の設計と今後

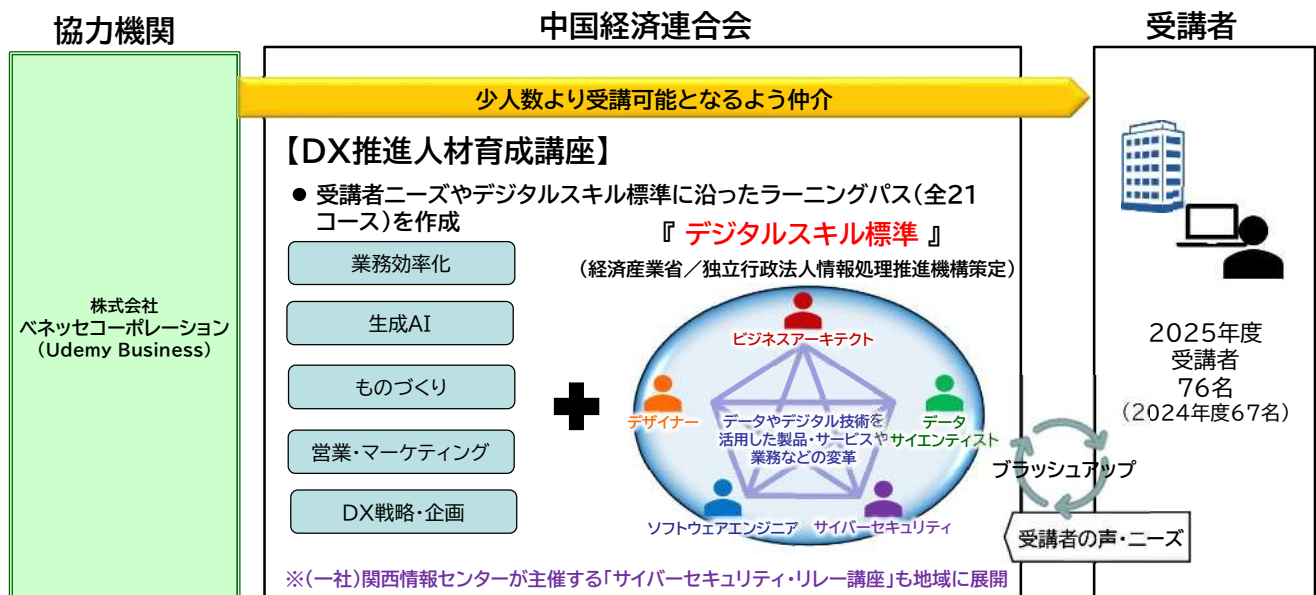
講師：一般財団法人 電力中央研究所 社会経済研究所
研究推進マネージャー（エネルギー経済） 上席研究員

若林 雅代 氏



1. デジタル人材の育成強化を含む支援内容の整備と提供 ―デジタル人材育成―

- DXの実現には、デジタル技術に関する知識を持ち、業務変革に繋げることができる人材が求められており、当連合会では、人材育成の一助として講座を提供している。
- 2025年度は、個人の学習や企業の人材確保・育成の指針として策定された「デジタルスキル標準」を中心としたカリキュラムも作成し、地域に展開。



2. 支援機関とのネットワークによるDX実装の伴走支援 ―セミナー等の開催―

- 中四国エリア全体のDX機運高揚に向け、「中四国DXサミット2025」を7月15日に開催
- 2025年度は新たに、DXのステージに応じたセッション、およびネットワーキングの時間を設けることで、幅広い層の課題に対応するとともに、中国地域DX推進支援ネットワークとのつながりや参加者同士の交流を促進

中四国DXサミット セミナー内容

セッション	プログラム	登壇者
基調講演	「企業変革への新たな機会と脅威 “AIインパクト”」	・株式会社INDUSTRIAL-X 八子知礼 氏
パネルディスカッション	DX初心者・スタート層向け デジタル化・業務改善 パネルディスカッションⅠ 「企業変革の第一歩 ーデータと現場がつながる仕組みづくり」	・株式会社内海機械（金属加工、府中市） 内海和浩 氏 ・四国化工機株式会社（食品・機械製造、徳島県） 植田俊介 氏
	DX実践者・推進層向け DXにおける新規事業 パネルディスカッションⅡ 「ナレッジを価値に変える ー強みの事業戦略化」	・株式会社クレスコ（金属加工、岡山市） 川井雄之介 氏 ・株式会社広島メタルワーク（金属加工、広島市） 前田啓太郎 氏
	支援会社からのDX活用ヒント パネルディスカッションⅢ 「DX推進の設計図 ーアプローチ別最初の一步」	・株式会社インターパーク（ITベンダー、札幌市） 船越裕勝 氏 ・一般社団法人中国地域ITCネットワーク 児玉学 氏
参加者同士の交流	ネットワーキング	・現地参加者



中四国サミットの様子

参加者数

- 現地参加：69人
- オンライン参加：116人

1. 地元に根付いたディープテック・スタートアップのビジネス機会創出と拡大支援

- 「J-Startup WEST」設立2周年記念イベント（2025年6月23日～24日、広島市）において、スタートアップ創出・育成を目的としたマッチングイベントを実施。
- 当連合会に加え、広島大学、経営人材、マツダ(新規事業開発室)にもご登壇いただき、それぞれの立場から新規事業に関する取り組みを紹介することで、新たな連携創出の機会を提供。

大学発スタートアップを目指して ～MPM事業(大学発スタートアップにおける経営人材確保支援)～

- ・ 尾上氏によるMPM事業の説明、広島大学教員による研究シーズ紹介、MPM事業に経営人材として参画する池田氏による経営的視点からの取り組み紹介を実施



株式会社エル・ティー・エス
尾上正幸 氏

中四国のMPM事業とりまとめ



広島大学 名誉教授
小原政信 氏

ゼロセメント型コンクリート（CO₂削減）



広島大学 周産母子センター
佐伯勇 氏

VRを活用した医療トレーニング



広島大学 先進理工系科学研究科
栗木雅夫 氏

電子ビーム滅菌技術



株式会社SKY SOCIAL
池田昌平 氏

経営人材として近畿大学教授との連携



マッチングイベントの様子
(約100名参加)

新規事業の挑戦 ～シーズを活用した新規事業開発の取り組み～



マツダ株式会社
技術研究所 兼 新規事業開発室
坂本和夫氏

自動車開発で培った**錆び関連技術を活用した診断装置**を紹介。インフラ老朽化対策など幅広い分野での応用を目指す。

3.スタートアップ支援とイノベーションエコシステムの構築

2. 学生等の起業意識・挑戦する意欲の醸成

- 学生のアントレプレナーシップ向上を目的として、第24回キャンパスベンチャーグランプリ中国（CVG中国）を開催。（2002年から開催）
- 2025年度は、SNS活用や募集前のキックオフイベントを開催し、認知度向上と参加意欲喚起を目指した施策も実施。

〔主催〕キャンパスベンチャーグランプリ実行委員会(委員長:中国経済連合会 会長)

〔共催〕中国経済連合会、中国地域産学官コラボレーション会議、日刊工業新聞社、中国四国産業人クラブ

【2025年度スケジュール】



中国地域11の大学・高専から76件の応募から、10件を表彰。
最優秀賞2件は、ともに岡山大学の学生



表彰式
(2026年1月27日)



最優秀賞受賞者
(岡山大学 伏谷さん、森本さん)

全国大会
に参加

重点課題 2 : 連携と適応による持続可能な地域づくり

1. デジタルを活用した持続可能な地域社会の実現

・・・ ⑬～⑭

デジタルライフラインの政策動向や社会実装に関する情報収集と地域への情報展開・啓発活動、域内実装に取り組んだ。

2. 第一次産業の活性化

・・・ ⑮～⑰

中山間地域の主要産業である農業の活性化は当地域発展のために重要である。加えて、農業振興は国土・環境の保全や地域の景観維持といった多面的機能の発揮にもつながることから、農業の課題解決や活性化につながる支援活動や要望活動に取り組んだ。

3. 地域資源の活用による観光の促進

・・・ ⑱～⑲

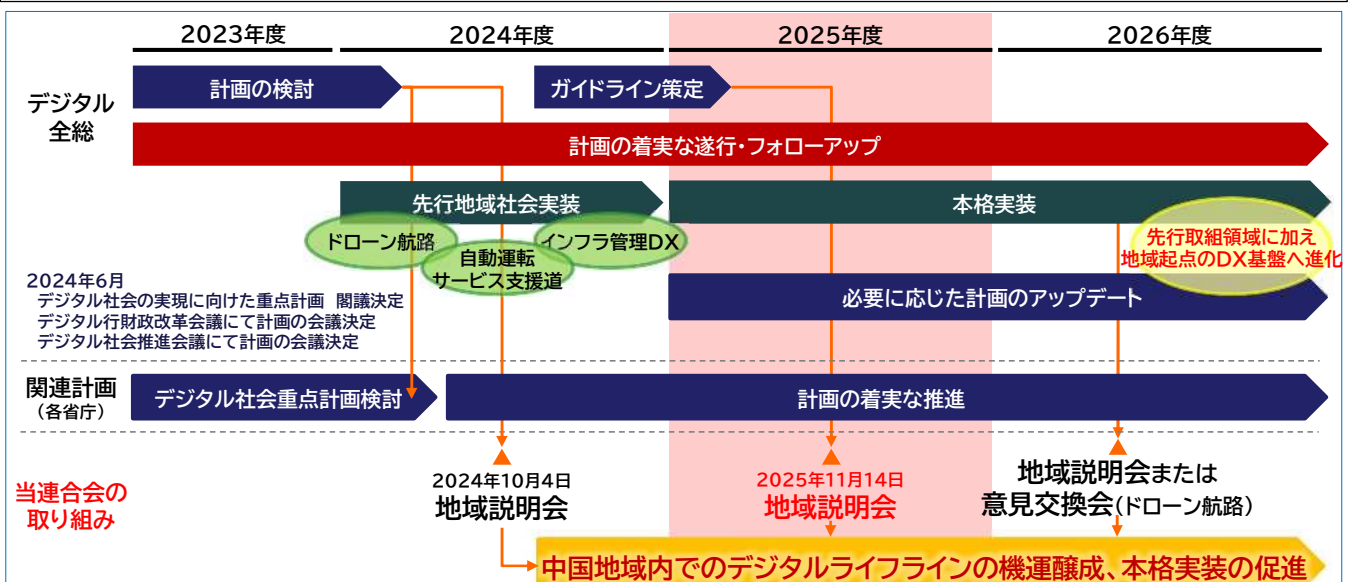
中国地域全体への誘客と観光消費の拡大を図るため、地域資源を活用した観光需要の創出や新たな観光スタイルを踏まえた需要開拓、中国地域観光推進協議会との連携による東アジアを中心としたインバウンド需要拡大に向けた情報発信・受入環境整備等を推進した。

1. デジタルを活用した持続可能な地域社会の実現

13

1. デジタルライフラインの地域内実装促進 ～ デジタルライフライン全国総合整備計画 地域内展開 ～

- 国が進める政策、および先行地域における社会実装など、地域への情報展開を通じた認知度向上・啓発を推進。
- また、地域内の取り組み調査や意見交換などを通じた関係構築を図りながら、地域実装に向けた器づくりの検討を進めて行く。



出典：経済産業省 デジタルライフライン全国総合整備計画(概要)を参照し、中国経済連合会が作成
(https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/lifeline/jitugen2-siryou3.pdf)

1. デジタルライフラインの地域内実装促進 ～ デジタルライフライン全国総合整備計画 地域内展開 ～

■ 地域説明会 概要

- 地域説明会を開催し、人口減少・人手不足といった社会課題解決と産業発展のために、政府が推進する『デジタルライフライン全国総合整備計画』の取り組みと中国地域での具体的な取り組み事例を紹介。（参加数：78名）

参加無料 デジタルが切り拓く未来
「点」の実証から「面」の実装へ！
社会を変えるデジタルライフライン戦略と中国地域での実践事例

11.14
13:30～17:00（開場 13:00～）
会場：ヒルトン広島 2階「江戸の川」
（広島市中区基町1-1-12）

人口減少・人手不足といった社会課題解決と産業発展のために、政府が推進する『デジタルライフライン全国総合整備計画』のロードマップ・ガイドライン制定を受け、その中国地域への展開と社会実装を促進します。全国で先駆けて開催する本イベントでは、中国地域での具体的な取り組み事例も紹介いたします。

デジタルライフライン全国総合整備計画
（経済産業省・国土交通省・デジタル庁）
（https://www.meti.go.jp/digital/monod/info/service/digital_infrastructure/infrastructure_portal/index.html）

デジタルライフラインの社会実装に向けて
- これまでと今後の展開 -

デジタルライフラインが拓く地域経済の新時代
- 生成AI時代のDX加速戦略 -

---中国地域での実践事例---

ドローン活用による課題解決と将来展望

中国電力ネットワーク株式会社 執行役員 松永 明生 氏
島根県美郷町 町長 嘉戸 隆 氏

経済産業省 商務振興政策局 情報経済課 データ・テクノロジー戦略企画室長 緒方 淳 氏
株式会社AIST Solutions Vice CIO 和泉 憲明 氏

- 【主催】 中国経済連合会、中国経済産業局
【後援】 中国地方整備局、中国総合通信局、中国情報通信懇談会、産業技術総合研究所
【日時】 2025年11月14日（金） 13:30～17:00
【会場】 ヒルトン広島
【講演】

（講師）

経済産業省
中国電力ネットワーク株式会社
島根県美郷町
株式会社AIST Solutions

緒方 淳 氏
松永 明生 氏
嘉戸 隆 氏
和泉 憲明 氏



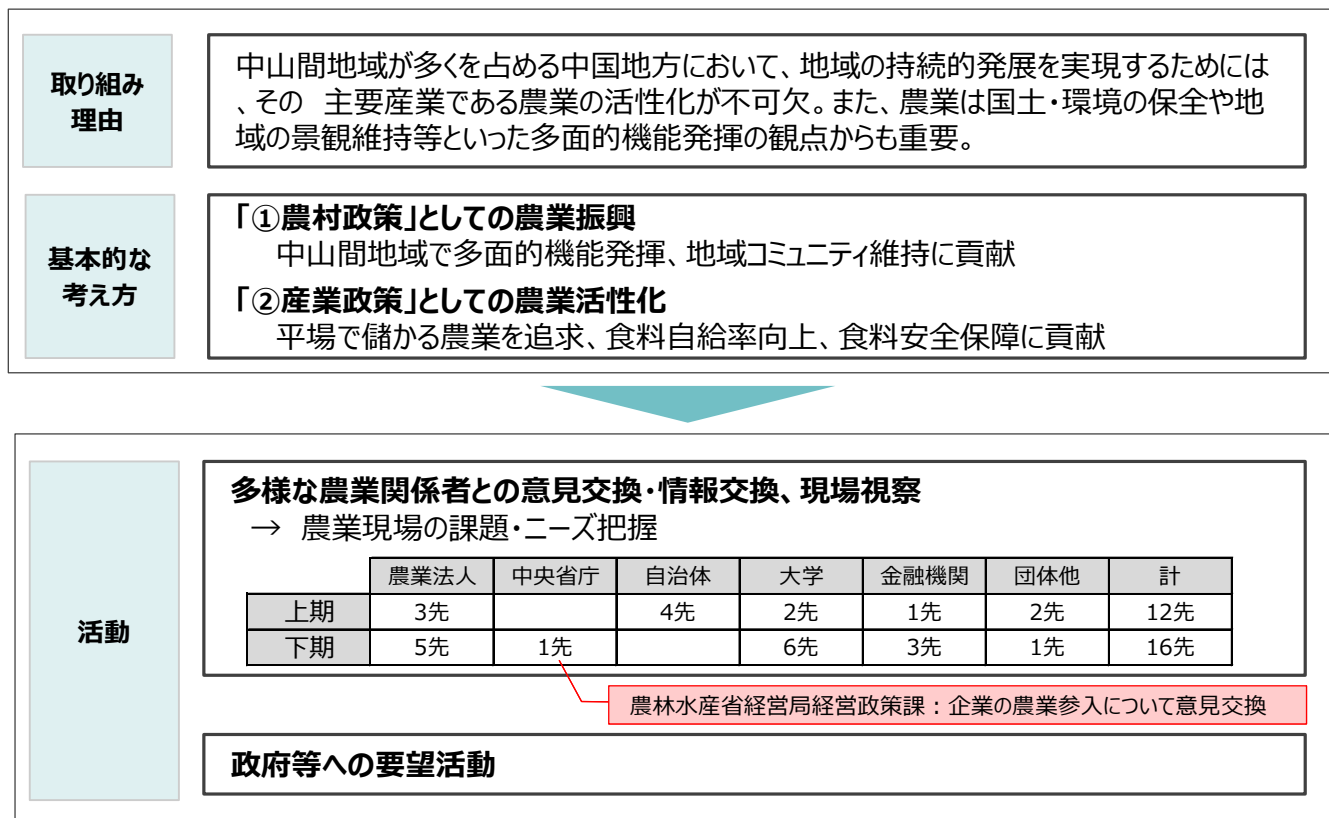
2. 第一次産業の活性化

1. 農業活性化に向けた基本的な考え方

- 農業の活性化は、「①農村政策としての農業振興」と、「②産業政策としての農業活性化」に区分して取り組む



2. 農業活性化に向けた取り組み状況



3. 農業活性化に関する政府等への要望活動

2025年11月29日	中国地域選出国会議員との懇談会で要望
	農林水産大臣・事務次官等へ要望書を送付
2026年2月3日	農林水産省経営局経営政策課へ要望書を送付

要望項目	具体的要望
①農村政策 多面的機能発揮と地域コミュニティ維持に向けた農業振興	◆ 営農作業の省力化を目的としたデータ活用を促進するための通信基盤等の整備 ◆ 関係人口や副業人材等の多様な人材の農業への流入増加につながる施策の展開
②産業政策 農業を産業として活性化していくための支援の強化	◆ 企業の農業参入を促進する施策の展開 (農地所有適格法人の要件緩和、ワンストップ行政窓口の設置等) ◆ 行政主導による農地の大規模化と用排水路や農道を含む圃場整備の促進 (農地中間管理機構の実効性向上、土地改良区への支援強化、農業団地の整備等) ◆ 生産コストを反映した適正な価格形成に向けた仕組みの構築と消費者理解の促進

【中国地域選出国会議員との懇談会でのご意見】

- ・地方の経済団体が農業問題を取り上げることに意義がある
- ・中国地方は中小零細農家・家族経営の農家が多く、そうした状況に応じた農業政策が必要

1. 地域資源を活用した地域づくりや新たな観光スタイルを踏まえた需要開拓

- 歴史的街道を活用した交流人口拡大に向け、中国地方整備局と連携し、「日本風景街道」や「夢街道ルネサンス事業」の取り組みを継続。
- 11月に「ちゅうごく街道交流会議」を開催し、夢街道ルネサンス新規認定地区「出雲街道津山城西おかげ町」（岡山県津山市）の認定証授与式やパネルディスカッション等を実施。
- 2025年度の新たな取り組みとして、活動団体を対象に、観光振興や活躍人口創出に関する勉強会（先進事例紹介や意見交換）を実施。
（Web：5月、8月、11月、2月／現地研修：10月 備前福岡七小路往来）

【ちゅうごく街道交流会議】

- ◆日程・場所：2025年11月4日（火）、広島市（広島YMCA国際文化センター）
- ◆主催：夢街道ルネサンス推進会議、中国地方風景街道協議会（両会とも会長は、当連合会の芦谷会長）
- ◆内容：認定証授与式、認定地区の活動紹介、「街道文化の持続可能性をさぐる～観光振興と地域振興を切り口に～」をテーマとした基調講演およびパネルディスカッション等



芦谷会長
（交流会議開会挨拶）



「出雲街道津山城西おかげ町」
認定証授与式



パネルディスカッションの様子



勉強会における意見交換の様子

3.地域資源の活用による観光の促進

2. インバウンド需要の拡大に向けた情報発信・受入環境整備

- 7月9日、台湾からの誘客拡大を目的として、中国地方知事会と連携し、島根県の丸山知事を団長に、高雄において現地旅行会社等への観光情報説明会および中国地域の観光事業者等との商談会・交流会を実施。
〈台湾側参加者〉66社104名（旅行会社・航空会社）
〈日本側参加者〉36社・団体70名（行政・宿泊施設・交通事業者等）
- あわせて、高雄の旅行会社（4社）、台北の航空会社・旅行会社（5社）を訪問し、中国地域のツアー商品の販売状況等のヒアリング、商品造成に向けた情報提供を実施。



高雄の旅行会社を対象とした
観光情報説明会（丸山知事挨拶）



高雄の旅行会社と中国地域の
観光事業者等との商談会



台湾の旅行会社訪問の様子

重点課題対応を支える基盤施策

1. 地域を支える人材の育成・確保、働き易く暮らしやすい環境の整備 …… ②①～②③

地域を担う多様な人材の育成・確保のニーズに対し、学生等若者の当地域への還流と就職の促進、女性・外国人材等の活躍促進に取り組んだ。

2. 交通基盤整備の促進等 …… ②④～②⑧

当地域の変革と成長を確かなものとするため、生活基盤、産業活動、レジリエントな地域づくりを下支えし、地域の自立・活性化や広域的な経済・生活圏の形成に資する交通インフラの整備促進に取り組んだ。

3. 地域の活性化に資する行財政改革の推進 …… ②⑨

地域課題を把握し政府等への政策提言に繋げるとともに、企業の防災・減災対策の強化に向けた機運醸成に取り組んだ。

1. 地域を支える人材の育成・確保、働き易く暮らしやすい環境の整備

1. 「中国地方の輝く企業」にてオンリーワン・ナンバーワン企業に関する情報を発信

- 「地元の魅力ある企業を知らないが故に、都市圏に転出している若者を一人でも減らす」とのコンセプトで、若者・大学生・留学生、UIターン希望者の中国地域への就職を促進するため、中国地方のオンリーワン・ナンバーワン企業（※）の情報をWEBサイト(日本語版・英語版)で情報発信している。

（※）その企業の有する技術・商品・サービスあるいはビジネスモデルが国内または世界で、「唯一である」・「有数のシェアである」・「初めてである」・「最高水準である」

2025年度の活動

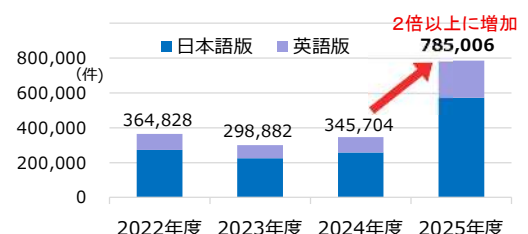
- ①WEBサイトの情報更新：既存先154社の情報更新・新規掲載企業
- ②選定委員会の設置：有識者による選定→WEBサイトの信頼性向上
- ②地元学生への周知：中国地方の大学・高専等72校にサイト案内のチラシを配布し周知
- ③地元外学生等への周知：東京のふるさと回帰支援センターにチラシを配布しUIターン希望者へ周知

〔2026年度以降の活動計画〕 独自の企業説明会の開催、行政との連携、ブランド力強化（コンテンツ充実・機能強化）

WEBサイトを
周知する
チラシ
〔日本語版〕
〔英語版〕



WEBサイト アクセス件数



2. 「中国地域女性ビジネスプランコンテスト SOERU」を開催

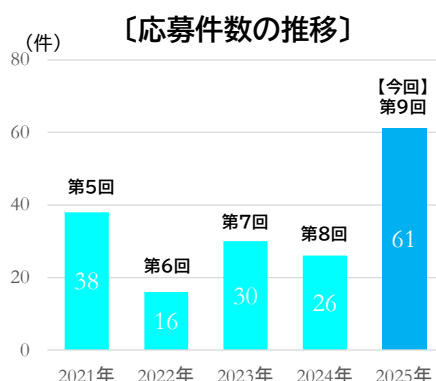
- 女性起業家の育成・支援を目的に、行政・金融機関等と連携して第9回中国地域女性ビジネスプランコンテストSOERUを開催。（主催：中国経済連合会、中国地域ニュービジネス協議会、日本政策投資銀行）
（協力：中国経済産業局、中小企業基盤整備機構、EY新日本有限責任監査法人）

コンセプト

「女性起業家に優しい地域」という機運を醸成し、女性にとっても魅力ある地域を目指す

取り組み
概要

- 応募資格は起業後5年以内、あるいは、これから起業を検討している、中国5県に在住・在勤・在学している女性起業家
- 受賞者には約50社のサポーター企業がマーケティング・広報等でサポート



3. 外国人材の雇用に関するアンケート調査を実施

- 企業による外国人材の活用促進に向けて、中国地域における外国人材雇用の状況に関するアンケート調査を実施。
⇒ 中国地域の企業の32.8%が雇用。製造業を中心に技能実習生、特定技能資格者の雇用が多く、高度外国人材のニーズは高くない。
- アンケート結果を踏まえ、企業を個別に訪問、抱える課題や国への要望等をヒアリング。
⇒ 雇用促進、受入・共生のための環境整備を求める声が多く、国への要望活動に織り込み。

企業の声（主なもの）	
現行制度で困っていること	✓ 特定技能2号移行時の試験（日本語能力N3以上が目安）が難しくボトルネック。雇用側は日本語能力よりも業務能力を評価。 ✓ 雇用関係手続きが煩雑で負担大。在留申請オンラインシステムの使い勝手が悪い。 ✓ 技能実習、特定技能の対象業務・場所に制限があるため、人材の流動的配置が困難。
育成就労制度への懸念	✓ 技能実習制度において受入可能であった職種・作業については、受入継続を要望。 ✓ 転籍時に、初期費用を負担した転籍元企業が不利益を被らない仕組みを要望。 ✓ 転籍により都市部に人材が集中しないよう、地方に配慮した制度設計が必要。
地域社会との共生	✓ 就労者及び家族への日本語教育・学校教育に対して、国の法的・財政的支援が必要。 ✓ 民間アパート等で外国人が拒絶されるケースも散見。地域社会の理解促進が不可欠。

1. 交通基盤整備の促進 (1) 中経連総括要望

- 道路、港湾等の早期整備や機能充実・強化、利活用促進に向けた政府等要望を実施

【主要要望項目（11月27日）】

- 【道路】・山陰道の早期全線開通 ・山陽自動車道のダブルルート化
 ・圏域中心都市間のネットワーク機能、都心部の渋滞を緩和する環状機能や
 拠点都市間の連携強化に資する高規格道路の早期整備
- 【港湾】・国際物流機能強化のための拠点港湾の早期整備
 ・カーボンニュートラルに資する港湾整備への支援
- 【空港】・地方誘客促進に向け、訪日誘客支援空港における路線誘致等への支援の復活、
 国際線受入れに必要な体制確保への支援など。国内地方航空路線の維持・拡充
 ・拠点空港としての広島空港の機能強化に向け、施設整備支援や運営支援
- 【安全・老朽化・防災対策】
 ・道路・港湾・空港施設等の老朽化・防災対策
 ・暫定2車線の4車線化等の安全対策
 ・「第1次国土強靱化実施中期計画」について、
 資材価格・人件費の高騰の影響等を適切に
 反映した必要な予算の確保と、計画に基づく
 取り組みの着実な実施



1. 交通基盤整備の促進 (2) 時代に即した港湾の整備

- 中国地方国際物流戦略チームにより、拠点港湾の機能充実など物流活性化に向けて活動
 港湾利用者懇談会・部会等を経て、政策提言を取りまとめ、政府等要望を実施（11月）
- 広島港・福山港の機能強化に向けた要望活動を実施（5・10月、11月）
- カーボンニュートラルに資する港湾整備の促進に向けて、港湾脱炭素化推進協議会に参画
 （水島港：1月、福山港：6月、呉港：2月、宇部港・小野田港：6・8・2月）

中国地方国際物流戦略チーム 港湾利用者懇談会の開催（1月28日、浜田港）

（目的）

- ・港湾利用者の物流に関する課題やニーズの把握

（出席者）

- ・地元企業25社、学識者、経済団体、
 国・地元自治体等 約70名



- 関門地域の一体的発展、中国地方と九州を繋ぐ大動脈のリダンダンシー確保に資する下関北九州道路の早期整備に向け、関係9団体により、北九州での整備促進大会（8/19）に加え、東京で初めて整備促進大会（中央大会）を開催（11/10）。同日、中央要望を実施。

下関北九州道路を取り巻く状況



1. 交通基盤整備の促進 (3) 関門圏域の一体的発展に資する道路整備の促進 ほか

- 下関市と北九州市という個性豊かなツインシティのブランディングとして、「関門ベイ・リング」の形成を目指し、関門地域の活性化について考える「関門エリアを”もっと面白くする”ワークショップ」を昨年に続き開催

2025年10月30日（火） @門司港エリア（三官楼・栄町銀天街）

- 下関北九州道路が完成する将来を担う若い世代の方々に、この地域を知り、関わりを持ってもらうことと、柔軟な発想を期待し、大学生をターゲットに設定。
- 当日は下関市立大学、北九州市立大学、山口県立大学の学生・関係者および地元企業の若手を中心とした社員等（約40名）が参加。

【講師】山口県立大学 国際文化学部 教授／博士（工学） 斉藤 理 教授

ワークショップ@三官楼・百畳間

フィールドワーク@栄町銀天街



【協力】下関市、北九州市、下関商工会議所、北九州商工会議所、（一社）海峡都市関門DMO、
門司港共創プロジェクトチーム共同事業体 ※地元の現状・課題について、地元自治体等が説明

2. 広域連携の推進

- 新たな中国圏広域地方計画の中間とりまとめ案が、9月の「第8回中国圏広域地方計画協議会」（会長：中経連会長）での審議の後、10月に公表された。
- 今後、市町村からの計画提案や至近の政策動向等を反映し、4月の協議会、パブリックコメント等を経て、2026年度の早い時期に新たな計画が決定される見通し。

(新たな中国圏広域地方計画における中国地方の将来像)

○活躍人口の創出、地域資源が持つ力を最大限発揮し、あらゆるつながりを再構築・強化することで、持続的に成長させる

将来像	誰もが自らの意思でライフスタイルを選択でき、活き活きと暮らし続けることができる中国圏	産業集積や地域資源を活かし、官民連携によって持続的に成長する中国圏	激甚化する災害から命と暮らしを守り、誰もが安全で安心に住み続けることができる中国圏	美しく豊かな自然環境と多様な歴史・文化を次世代に引き継ぐグリーンな中国圏
目標	デジタル技術の活用や官民連携による個性を活かした地域生活圏の形成	ものづくり産業の競争力強化とカーボンニュートラルの実現等に向けた持続可能な産業への構造転換	総力戦で挑む強靱な圏域整備と安全・安心の推進	豊かな自然環境の保全・再生と脱炭素社会の実現に向けた地域づくりの推進
	重層的なネットワーク形成による圏域内外の対流促進	中山間・島嶼部における地域産業の振興 観光振興による地域経済の活性化	インフラ老朽化対策の推進	地域特有の歴史・文化の次世代への継承

- ・広域地方計画は、国土形成計画法第9条に基づき、全国計画を基本として、広域地方計画区域ごとに方針や目標を定める計画(国土交通大臣決定)
- ・新しい全国計画である第三次国土形成計画は、2023(令和5)年7月に閣議決定済み

3.地域の活性化に資する行財政改革の推進

1. 「令和8年度 税制改正に向けて（要望）」をとりまとめ

- 企業の競争力強化や地域の活力向上等に必要な税制改革の実現に向けて、内閣府、財務省等関係省庁及び与党税制調査会へ税制要望を実施。

▶「令和8年度 税制改正要望」

要望時期：2025年11月

要望項目：

要望先：内閣府、財務省、経産省、
総務省等関係省庁及び
与党税制調査会等

- ①企業の競争力強化に資する税制
- ②産業の脱炭素化に資する税制
- ③地域の活力向上に資する税制



小野寺自民党税制調査会会長への要望

2. 防災・減災講演会を開催

- 企業の防災・減災等に関する講演会を開催。

▶ 防災・減災講演会（WEB）

1. 実施日：2025年11月12日
2. 演題：今見直す！災害時に機能するBCP/BCMのポイント
～中国地方の災害リスクを把握し、対策を見直す～
3. 講師：合同会社ソナエルワークス代表 | 備え・防災・BCP策定アドバイザー
高 荷 智 也 氏
4. 参加者：60社（95名）



連携・要望活動等

1. 連携・要望活動

・・・㉓㉔～㉕

官民連携の一層の強化に向けた取組を進めるとともに、会員の意見等を踏まえた上で、地域課題の解決に向けた要望活動を展開した。

2. 海外視察等

・・・㉖㉗～㉘

地域産業の活性化、地域企業の競争力強化、輸出促進・海外展開支援の観点から、海外情勢に関する情報収集・提供に努めるとともに、海外経済視察団を派遣し現地調査を実施した。

1. 連携・要望活動

31

1. 行政・経済団体との連携活動（1）

【中国地域発展推進会議】（中国 5 県、各県経済団体代表、当連合会）

- 令和7年度第1回（5月28日：下関市）
中国地域発展推進会議の活性化について協議。
- 令和7年度第2回（9月3日：広島市）
 - 共同アピール「魅力ある中国地方の創生に向けて～若者・女性にも選ばれる地方づくり～」のとりまとめ
 - 「中国地域広域リージョン連携プラットフォーム」の設立
→ 「中国地域広域リージョン連携宣言」を実施



第2回中国地域発展推進会議



中国地域広域リージョン連携宣言

1. 行政・経済団体との連携活動（2）

【中四国サミット】（中四国9県、四経連、当連合会）

■ 第34回（8月26日：東京都・オンライン）

「防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進について」
 「広域的な観光連携の推進について」他、計10テーマ
 について意見交換し、共同アピールを決議。



【中国地方経済懇談会】（日本経済団体連合会との共催）

■ 第53回懇談会（2月19日：岡山市）〔参加者：約140名〕

<基本テーマ>

新たな時代の地方創生

～次の中国地方に向けた地域の挑戦～

<懇談テーマ>

・次世代の産業づくり

（産業競争力の強化、新産業の創出・育成、
GXの戦略的な推進）

・持続可能な地域づくり

（観光産業による地域振興、企業の農業への
参入促進、多様な人材の活躍促進）

2つの懇談テーマについて経団連と意見交換を実施。



1.連携・要望活動

2. 政策要望

【国会議員との懇談会および総括要望（11月27日：東京都）】

○国会議員との懇談会

・地元選出の国会議員(38名)と政策要望に関して意見交換

○総括要望

要望書：豊かで活力に溢れる中国地域の創生に向けて
 （内 容）

- ・地域産業の競争力強化
- ・カーボンニュートラルの推進
- ・観光の振興
- ・地域社会の社会基盤整備の推進
- ・持続可能な活力ある地域づくり

要望先：関係中央省庁等



中国地方選出国会議員との懇談会



林大臣(総務省)



赤澤大臣(経済産業省)



木原官房長官(首相官邸)

1. 海外経済視察団を米国に派遣

- 「第二次トランプ政権下の米国政治・経済の最新動向と日本への影響」をテーマに、カリフォルニア州(ロサンゼルス)、テキサス州(オースティン・ヒューストン)に海外視察団を派遣。
- 現地の政治経済情勢、日系企業の事業環境、産学官連携等の調査、情報収集を実施。
⇒ 米国内の政治的分断の状況等、現地でしか得られない貴重な情報を得ることができた。

1. 日程：2025年9月8日(月)～14日(日) [7日間]

2. 参加者：芦谷会長(団長)、池田副会長(副団長)含め全23名

3. 視察地・視察先

視察地	ロサンゼルス	オースティン	ヒューストン
主な視察先	・在ロサンゼルス日本国総領事館 ・南カリフォルニア日系企業協会	・テキサス大学オースティン校 ・オースティン商工会議所	・総領事・日系企業駐在員との懇談 ・ダイキンテキサス工場

【在ロサンゼルス日本国総領事館】



【テキサス大学オースティン校】



【ダイキンテキサス工場】



2. 海外情勢に関する講演会を開催

- 外交評論家を招いて海外情勢に関する講演会を開催。

▶ 海外情勢に関する講演会

1. 実施日：2026年3月11日
2. 演題：高市外交の課題
3. 講師：外交評論家、元駐オーストラリア特命全権大使
山上信吾氏



Ⅱ. 事業活動の状況

1. 総会・理事会等

区 分	開催日	開催場所	出席者
定時総会	6 月 11 日	ANAクラウンプラザホテル広島	244 名
第 1 回理事会	5 月 15 日	リーガロイヤルホテル広島	16 名
第 2 回理事会	6 月 11 日	ANAクラウンプラザホテル広島	22 名
第 3 回理事会	10 月 20 日	ヒルトン広島	21 名
第 4 回理事会	3 月 16 日	ホテルグランヴィア広島	20 名
第 1 回政策会議・幹事会合同会議	5 月 15 日	リーガロイヤルホテル広島	65 名
第 2 回政策会議・幹事会合同会議	10 月 20 日	ヒルトン広島	69 名

2. 委員会の活動

(1) 産業技術委員会

■ 委員会・部会

区 分	参加者数	開催月
産業技術委員会	66 名	3 月

■ 事業活動

<DXの推進>

区 分	参加者数	実施月
DX 推進人材育成講座	76 名	7-3 月
中四国 DX サミット	185 名	7 月
中国地域経営変革フォーラム	17 名	10 月
中小企業製造業向け DX 啓発セミナー	4 名	11 月
自治体職員向け 企業デジタル化、DX 支援施策にかかる情報交換会	40 名	1 月
金融機関渉外担当者向け AI・DX 基礎講座（全 3 回）	152 名	1・2 月
中国地域 DX 推進支援ネットワーク連絡会議（全 3 回）	90 名	5・10・2 月

<スタートアップ支援とイノベーションエコシステムの構築>

区 分	参加者数	実施月
J-Start up WEST 2 周年記念イベント	180 名	6 月
中国地域産学官コラボレーション会議 全体会議	38 名	10 月
キャンパスベンチャーグランプリ（CVG） CVG 中国審査会 CVG 中国表彰式	11 校・ 76 件	12 月 1 月

<カーボンニュートラル推進協議会>

区 分	参加者数	実施月
第 4 回中国地域カーボンニュートラル推進協議会	70 名	6 月
「地球温暖化をめぐる内外情勢とカーボンプライシング」セミナー	70 名	6 月
カーボンニュートラル・シーズ保有企業マッチングプレゼンテーション	70 名	12 月

(2) 国際委員会

■ 委員会

区 分	参加者数	開催月
国際委員会	14 名	3 月

■ 事業活動

<外国人材の活躍促進>

区 分	参加者数	実施月
外国人材の雇用に関するアンケート調査	—	5 月
外国人材の活用促進に関する政府要望	—	11 月

<海外視察、情報収集・提供>

区 分	参加者数	実施月
海外経済視察団の派遣	23 名	9 月
海外情勢に関する講演会（「高市外交の課題」講師：山上信吾氏） （以下、共催・後援等）	50 名	3 月
韓日経済交流支援ビジネスカンファレンス		11 月
企業と留学生の就職交流会［ひろしま国際センター］		12、2 月
外国人留学生合同企業説明会［ひろしま国際センター］		3 月

(3) 観光文化委員会

■ 委員会

区 分	参加者数	開催月
観光文化委員会	計 78 名	10、3 月

■ 事業活動

<瀬戸内海クルーズ、サイクリング>

区 分	参加者数	実施月
瀬戸内海クルーズ推進会議と連携した誘致活動 （クルーズ船社、旅行会社と受入側自治体とのクルーズ船誘致商談会）	49 名	12 月
SetouchiVelo 協議会岡山会議（総会、トライアルライド）	94 名	11 月
やまなみ街道チャレンジライドの開催	152 名	3 月

<夢街道ルネサンス推進会議、中国地方風景街道協議会>

区 分	参加者数	実施月
夢街道ルネサンス、日本風景街道ちゅうごくの活性化に向けた登録 団体、自治体との勉強会	延べ 200 名程度	5、8、10、 11、2 月
ちゅうごく街道交流会議	80 名	11 月

<インバウンド事業>

区 分	参加者数	実施月
中国地域観光推進協議会と連携した情報発信、受入環境整備 ・台湾（高雄）での観光情報説明会・商談会	174 名	7 月
・レンタカー周遊促進事業（観光庁補助金事業）	—	8～1 月
・中国地方インバウンドフォーラム	137 名	9～10 月
・台北旅行博出展（ブース来場者数：1.2 万人）	—	11 月
・タイ旅行博出展（ブース来場者数：3.6 千人）	—	11 月
・外国人観光案内所スタッフ研修会	40 名	2 月

<受入環境整備事業>

区 分	参加者数	実施月
ベジタリアンガイドブックの発行	—	4 月

<観光振興全般>

区 分	参加者数	実施月
地域資源を活用した観光振興に関する意見交換［6 地方経済連合会］	20 名	6 月
大阪・関西万博の視察	19 名	9 月
中国地域在住者の観光意識アンケート調査	—	1 月

区 分	参加者数	実施月
食の多様性に配慮したインバウンド受入環境整備における効果的な情報発信のあり方の調査	—	7-3 月

(4) エネルギー環境委員会

■ 委員会

区 分	参加者数	開催月
エネルギー環境委員会	40 名	3 月

■ 事業活動

<エネルギー・環境政策>

区 分	参加者数	実施月
エネルギー・環境政策講演会 ・エネルギー政策の現状について（Web） ・国内排出量取引制度の設計と今後	102 名 65 名	10 月 3 月
エネルギー関連施設視察会 ・技術研究所、ガスエネルギー館「CaN-Lab」、知多緑浜工場（東邦ガス株式会社）、碧南火力発電所（株式会社 JERA）	16 名	10 月
水素・次世代エネルギー研究会セミナー ・「水素エネルギーの利活用と CO2 資源化の取り組み」他	—	3 月

<地域脱炭素>

区 分	参加者数	実施月
中国地域発展推進会議・温暖化対策検討部会	—	5、8 月
地域の脱炭素化に向けた理解促進・啓発活動 ・地域脱炭素化推進講演会（対面+Web）	175 名	8 月

(5) 地域づくり委員会・関門連携委員会

■ 委員会・部会

区 分	参加者数	開催月
地域づくり委員会	計 90 名	3 月
関門連携委員会	計 30 名	10、3 月
人口減少対策専門部会	14 名	1 月

■ 事業活動

<地域づくり>

区 分	参加者数	実施月
広島広域都市圏 U I J ターン促進協議会	—	5、3 月
次世代女性リーダーネットワークひろしま「WE-Hub ひろしま」	—	6~3 月
広島県女性人材向け研修・交流会	—	8、9、10、11 月
広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略外部評価会議	—	10 月
広島県の拠点性強化に向けた懇話会	—	9 月
中国地域女性ビジネスプランコンテスト SOERU	125 名	12 月

<社会基盤>

区 分	参加者数	実施月
豊予海峡ルート推進協議会 幹事会	—	5 月
総会	—	7 月
広島港・福山港の機能強化に関する要望	—	5、10、11 月
中国圏広域地方計画協議会	—	9 月

区 分	参加者数	実施月
学識者等会議		6、3月
幹事会		7、3月
運営会議		7、1月
西広島バイパス都心部延伸事業促進協議会	—	6月
西広島バイパス都心部延伸事業の円滑な推進に向けた官民連携会議		9月
国道2号・54号関係期成同盟会 総会	—	6月
中央要望		7、11月
港湾脱炭素化推進協議会		
水島港 港湾脱炭素化推進協議会（第3回）	—	1月
福山港 港湾脱炭素化推進協議会（第3回）		6月
呉港 港湾脱炭素化推進協議会（第4回）		2月
宇部港 港湾脱炭素化推進協議会（第4・5・6回）		6、8、2月
小野田港 港湾脱炭素化推進協議会（第4・5・6回）		6、8、2月
下関北九州道路の整備促進		
下関北九州道路建設促進協議会 総会	—	7月
下関北九州道路整備促進期成同盟会 総会		7月
下関北九州道路整備促進大会（地方大会、北九州市）		8月
下関北九州道路整備促進大会（中央大会）		11月
中央要望		11月
中国地方国際物流戦略チーム		
海上輸送利用のガイドライン 更新		9月
部会（第25回）	—	10月
中央要望	—	11月
物流関係セミナー	54名	12月
港湾利用者懇談会（浜田港）	—	1月
環瀬戸内海地域交流促進協議会 幹事会（高松市&Web）	—	10月
協議会（高松市）		1月
社会資本整備審議会 道路分科会 国土幹線道路部会	—	3月
第2回本州・九州連携小委員会		
広島空港振興協議会 理事会	—	3月

< 関門連携 >

関門地域を“もっと面白くする”ワークショップ（北九州市）	40名	10月
------------------------------	-----	-----

(6) 情報通信委員会

■ 委員会

区 分	参加者数	開催月
情報通信委員会	41名	3月

■ 事業活動

< オープンデータ利活用促進 >

区 分	参加者数	実施月
中国情報通信懇談会	—	8、11、3月
運営委員会		
中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル	20名	2月

< ICT利活用促進 >

区 分	参加者数	実施月
デジタルライフライン全国総合整備計画地域浸透・展開イベント	78名	11月
アドバイザー幹事会	—	9、2月

区 分	参加者数	実施月
中国地域における Society5.0 の実現に向けた連携・協力会	—	1 月
中国地域 I C T 産学官連携フォーラム 幹事会	—	3 月
広島広域都市圏 I C T 推進協議会	—	11 月

(7) 行財政委員会

■ 委員会・部会

区 分	参加者数	開催月
行財政委員会（書面開催）	—	3 月

■ 事業活動

< 税制改革 >

区 分	参加者数	実施月
令和 8 年度税制改正に向けて（要望）	—	11 月

< 防災・減災 >

区 分	参加者数	実施月
防災・減災セミナー（WEB）	95 名	11 月

(8) 調査・報告書

調査・報告書の名称	調査・発行月
中国地方景気動向アンケート調査	5、8、11、2 月
中国地域在住者の観光意識に関する調査	1 月
食の多様性に配慮したインバウンド受入環境整備における効果的な情報発信のあり方の調査	7-3 月

(9) プレス発表

件 名	発表月日
中国地域在住者の観光意識に関する調査について（2025 年 1 月調査）	4 月 17 日
高付加価値な観光コンテンツの造成に資する地域資源と情報発信戦略に関する調査について	4 月 24 日
第 9 回 中国地域女性ビジネスプランコンテスト「SOERU」の応募者募集について	4 月 24 日
「下関北九州道路整備促進大会」の開催について	7 月 8 日
「デジタルが切り拓く未来」地域浸透・展開イベントの開催について	10 月 2 日
下関北九州道路整備促進大会（中央大会）の開催及び中央要望について	10 月 23 日
政府等に対する税制改正に向けた要望について	11 月 13 日
第 9 回中国地域女性ビジネスプランコンテスト SOERU のファイナリストを決定	11 月 5 日
第 9 回中国地域女性ビジネスプランコンテスト S O E R U 受賞者の発表	12 月 17 日
キャンパスベンチャーグランプリ受賞者の発表	1 月 8 日

（定例：景気動向）

景気動向アンケート調査結果（2025 年 05 月調査）	6 月 20 日
〃（2025 年 08 月調査）	9 月 29 日
〃（2025 年 11 月調査）	1 月 9 日
〃（2026 年 02 月調査）	3 月 31 日

3. 提言・要望活動

提言・要望	実施月
地域の脱炭素化の推進について (中国地域発展推進会議)	5 月
広島港の機能強化に関する要望 (広島県、広島市、広島商工会議所、中国経済連合会)	5 月 10 月
国道 2 号・54 号関係道路の建設促進に関する要望 (国道 2 号東広島・安芸バイパス建設促進期成同盟会、広島南道路建設促進期成同盟会、 国道 2 号西広島バイパス高架建設促進期成同盟会、国道 54 号改築促進広島県期成同盟会)	7 月 11 月
令和 8 年度税制改正に向けて (要望)	11 月
下関北九州道路の早期整備に関する要望 (下関北九州道路整備促進期成同盟会、下関北九州道路建設促進協議会、中国経済連合会、九州経済連合会、関門連携委員会等)	11 月
福山港の機能強化に関する要望 (広島県、福山市、福山商工会議所、中国経済連合会)	11 月
共創と広域連携による魅力と活力ある地域の創生～西日本が拓く新たな未来～ (西日本経済協議会)	11 月
豊かで活力に溢れる中国地域の創生に向けて (要望) 中国地方における基幹的な交通基盤の整備について (要望) 産業競争力強化のための物流の連携強化、生産性向上及び物流ネットワークの強靱化に関する政策提言 (中国地方国際物流戦略チーム) 関門地域の活性化推進に関する要望	11 月

4. 連携・懇談活動等

■ 行政・経済団体関係

区 分	テーマ・主な内容	参加者数	開催月
中国地域発展推進会議 (下関市)	意見交換 ・中国地域発展推進会議の活性化について ・若者・女性にも選ばれる地方づくりに向けた取組について 共同アピール ・地域脱炭素化の推進について 報告 ・インバウンド誘致強化委員会の事業実施結果、事業計画	—	5 月
中四国サミット (東京都／web)	・防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進について ・広域的な観光連携の推進について ・高速交通ネットワーク及び地域交通の整備・充実について ・カーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進について ・中小企業等が物価上昇に負けない賃上げを行うための、コスト上昇分を価格転嫁できる取引環境の整備について ・社会保障制度の確保について ・教育の充実について ・東京一極集中の是正と地方における人口	37 名	10 月

区 分	テーマ・主な内容	参加者数	開催月
	減少対策について ・国民の政治参加の促進と公明かつ適正な選挙の実現について ・参議院議員選挙における合区の解消について		
中国地域発展推進会議 (広島市)	意見交換 ・広域リージョン連携に向けた対応について 共同アピール ・魅力ある中国地方の創生に向けて ～若者・女性にも選ばれる地方づくり～ 報告 ・温暖化対策検討部会の脱炭素化推進の取組 ・インバウンド誘致強化委員会の事業	—	9 月
中国地域広域リージョン連携プラットフォーム会議 (広島市)	意見交換 ・広域リージョン連携にむけた対応について 中国地域広域リージョン連携宣言の採択	—	9 月
西日本経済協議会総会 (京都市)	テーマ：共創と広域連携による魅力と活力ある地域の創生～西日本が拓く新たな未来～	196 名	10 月
中国地方選出国議員との懇談会 (東京都)	当連合会の要望事項について	58 名	11 月
島根広島交流会議	意見交換	—	延期
中国地方経済懇談会 (岡山市)	テーマ：新たな時代の地方創生～次の中国地方に向けた地域の挑戦～	142 名	2 月
中国地方政府機関との懇談会 (広島市)	当連合会の重点取組事項等に関し意見交換	30 名	3 月

■ 役員・会員関係

区 分	テーマ・主な内容	参加者数	開催月
第 1 回役員懇話会 (広島市)	講演：ドイツで強まるエネルギー転換への逆風と、製造業界の試練	67 名	5 月
第 2 回役員懇話会 (広島市)	講演：わが国の経済・物価情勢と金融政策：資産運用立国と日本経済	73 名	10 月
山口地区会員懇談会 (下関市)	当連合会の活動状況の報告、意見交換 講演：人口減少下における地域経済産業政策	34 名	12 月
鳥取・島根地区会員懇談会 (米子市)	当連合会の活動状況の報告、意見交換 講演：外国人政策と地域経済—国際労働市場のダイナミズムをいかに活用するか	34 名	1 月

5. 会員状況

	期 首	新規加入	退 会	期 末
団体会員	154	0	0	154
企業会員	572	6	▲14	564
合 計	726	6	▲14	718

2025 年度事業報告の附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

以 上